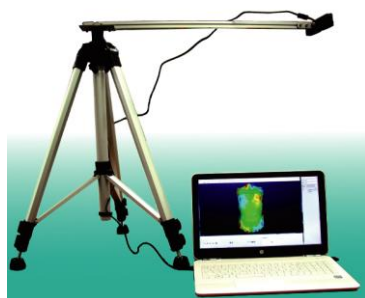
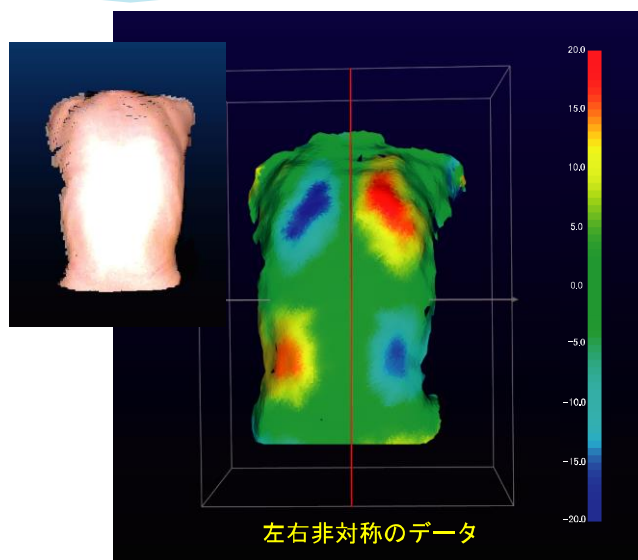
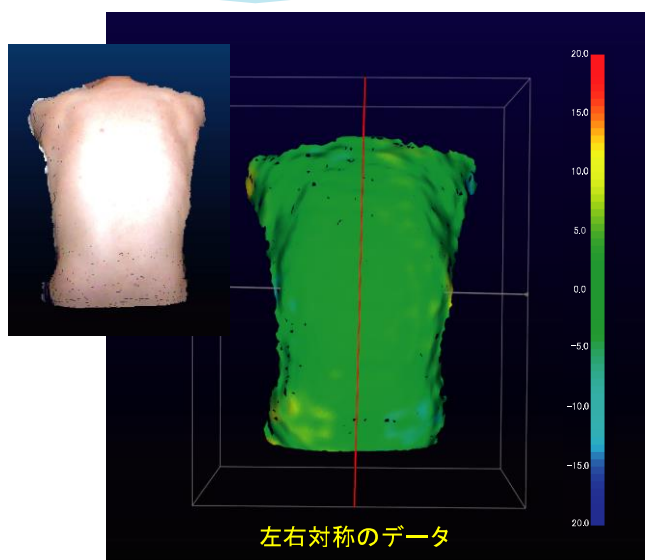


ボディバランスモニター

体表面を3Dスキャンして**歪み**(非対称性)を可視化

目視で判別しにくい歪みや、歪みの改善状況が**カラーマップ**によりはっきりとわかります



システム構成

活用例

- 可視化された歪みイメージを元に、マッサージや整体などの施術方針や、推奨トレーニング方針の決定
- 施術の前後における改善効果の確認に

計測事例は裏面をご覧ください→

2ボタンの簡単操作



撮影

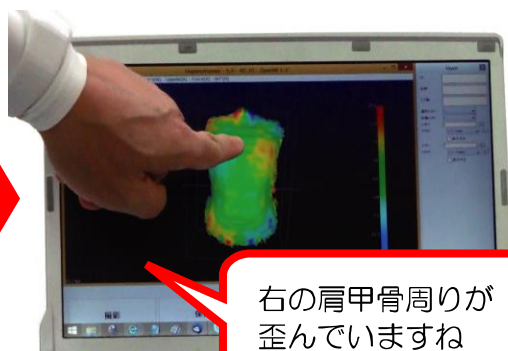
スキャンは一瞬で完了

※服を着たままでも撮影可能



解析

数秒以内に解析完了



右の肩甲骨周りが歪んでいますね

歪みの状態をその場で確認しながらトレーニング方針や施術効果の説明ができます

ボディバランスモニターは、北海道大学と当社が共同開発した非対称性可視化のアルゴリズム R-ICP(Reflected Iterative Closest Point) 法をベースとして製品化されました (特許申請中)



株式会社ノア

<https://kknoa.co.jp>

このカタログの内容は2023年10月27日現在のものです。記載内容は予告なく変更されることがあります。

ボディバランスモニターの計測事例

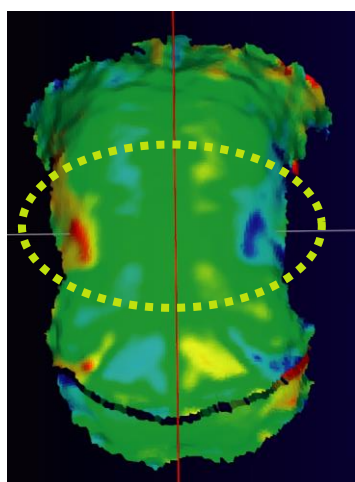
事例 1

施術とトレーニングによる改善例

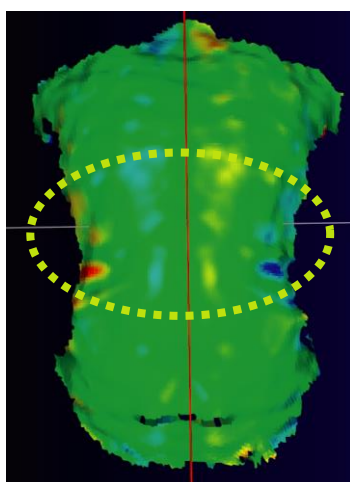
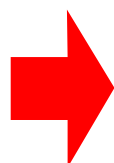
競泳の選手である高校二年生の A 君は、以前から直線的な泳ぎができず、タイムロスに繋がっていました。更にそれをカバーする代償性運動から左腰背部に痛みがある状態でした。そこで A 君の背部の状態を計測したところ、左背部（広背筋周辺）に歪みがあることがわかりました（①）。

詳細に観察したところ、広背筋の筋肉がこわばって機能が低下しており、さらに体幹の筋力のアンバランスが確認されました。不調をきたす原因が、広背筋の機能の低下による肩甲骨回転リズムの悪化と推定され、まず、筋肉のこわばりがあった部位に施術を行い再度計測しました（②）。

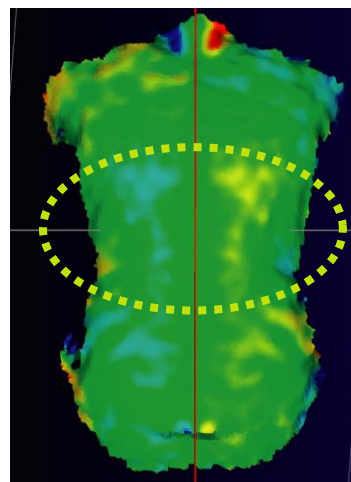
その結果、機能が低下している筋肉のトレーニングが必要と判断されたため、トレーニングを実施。1週間後再度計測しました（③）。このプロセスにより A 君は以前からの課題である、直線的でロスのない泳ぎを手にし、自己ベストを更新することができました。



【①】初回計測時



【②】施術実施後



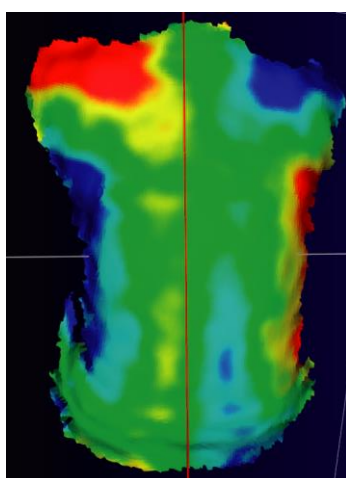
【③】トレーニング実施後

(データ提供：小樽市 松濱接骨院)

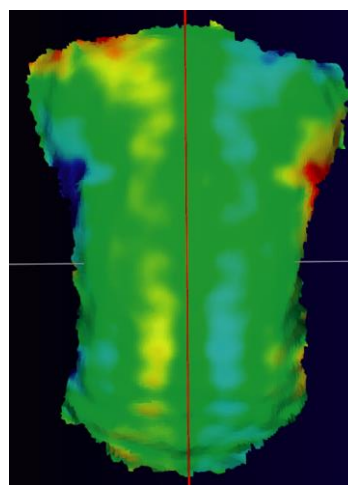
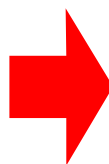
事例 2

整体での施術（マッサージ）前後比較例

施術前と施術後の計測結果です。強い歪み（濃い赤色、青色）が現れていた部分が、施術後は緩和されて全体に緑色に近づき、左右のバランスが整った状態になったのがわかります。



施術前



施術後

(データ提供：札幌市 美整 Labo)



株式会社ノア

<https://kknoa.co.jp>

E-mail : info@kknoa.co.jp

Tel : 029-829-6428 (本社)

Tel : 011-299-9757 (技術開発センター)

本社：〒300-1234 茨城県牛久市中央 3 丁目 22-1 土曜館ビル 202

技術開発センター：〒003-0028 北海道札幌市白石区平和通 2 丁目南 6-34 エスカイア白石第二 212 号